

書くこと

書くことでは、子どもたちに書くことの必要感をもたせることが大切です。目的や相手に応じて表現方法を工夫させ、他の領域との関連指導を行うなど、書くことを楽しむような活動を展開しましょう。



幼児期

文字や数字への興味が広がり、遊びの中で使って、相手に伝えようとしています。看板づくりや製作物に自分の名前を書くなどの体験を経て小学校へと向かいます。

小学校

1年

どんな文章を

どのようにして

言語活動例

簡単な文章

主語を変えて

短文
お話創作

あのね日記

日記

順序を考えて

したこと作文
簡単な説明書

生活作文

段落のある文章

まとまりを考えて

観察文
説明文

行事作文

読書紹介

中心がわかるように

新聞
記録文

読書感想

目的や意図に応じた文章

書く事柄を整理して

簡単なパンフレット・ポスター

手紙文
(お礼・依頼・紹介文)

メモ

組立ての効果を考えて

ガイドブック

詩・物語創作

読書記録

中学校

1年

考えを明確にした文章

事実や出来事をもとに

体験文
パンフレット

リーフレット

広告

説得力のある文章

根拠を明らかにして

意見文
語り手を工夫した作文

宣伝文

書評

論理の展開を考えて

主張文

エッセイ

卒業後

目的や相手に応じて効果的な文章を書くことができ、自分の考えや思いを適切に伝えることができる。